

特集

これからのがん対策

第3期がん対策推進基本計画のポイント 若尾文彦

健康増進事業報告から見た、がん検診の精度管理 岡本悦司

がん検診の効果的な個別受診勧奨 溝田友里, 山本精一郎

地域から職域に向けたがん精検受診率向上対策 武田世津

がん医療・緩和ケアの地域診断と地域連携の推進

林ひとみ, 大江 浩

高濃度乳房の通知に関する考え方 福田 護

PHOTO

当事者と専門職が協働して行う多胎家庭への支援

ぎふ多胎ネットの取り組み 糸井川誠子

連載

時代が求める！ 保健師記録の仕組みづくり 吉本照子ほか

鹿児島保健師ものがたり 地域包括ケア時代の保健師の役割を探る

八田冷子

事例で学ぶ：悩める妊婦の相談への対応 橋本栄里子ほか

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

統括保健師の日々 千葉圭子

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●認知症ケアとして話題となった「ユマニチュード」では、ケア対象者の視線を捉えることを重視します。しっかり視線を合わせ続けると、問いかけに対する相手の反応が変わるためです。一概に括れませんが、訪問を基本とし、病態を対象者が理解できるよう説明する戦略研究の保健指導では、同様の効果があったのではないかと想像できます。人をケアする上で重要な要素が発揮される方法であることが、成果につながっているように思われます。この特集が保健指導の原点を再考するきっかけとなれば幸いです。(小林)

●最も塩分摂取量が少ない都道府県は沖縄県だそうです。気温が高いことと、もう一つ“だし文化”がその要因にあるそうです。豚は骨まで一緒に煮込み、鰹節消費も全国一です。今回巻頭で紹介した大分県の取り組みでも、だし使いなどの工夫“うま塩”は、やはり減塩のキーとなるそうです。●個人的にてんぷらは塩でなく絶対に天つゆで食べたい派なのですが、どうやらネット上では、つゆで食べるのは貧乏人だという聞き捨てならない意見があるようです。これを機に、天つゆ派の地位向上を図っていききたいと思います。(長原)

保健師ジャーナル 第73巻第11号 2017年11月10日発行(毎月1回10日発行)
発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan
1部定価：本体1,400円＋税

2017年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、
電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林/長原/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。